

2019

12

December Vol.45

# JALまねびより

今月の特集 島根のいいもの再発見!! 「浜田市 菌床しいたけ」 いわみ中央地区本部



棚田まつり  
(三隅町 室谷)

Naomichi





島根には誇れる農産品がたーっくさん!

# 島根のいいもの 再発見!!

直撃・生産者インタビュー

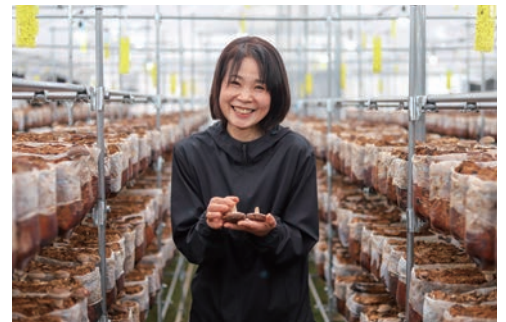
## 浜田市 菌床しいたけ

12月は、いわみ中央地区本部。浜田市で、菌床しいたけ作りに取り組む岩倉純子さんにお話を伺ってきました。



### いずれはやりたかった 念願の農業

山あいに位置する浜田市旭町。長年ここで市役所の職員として働いてきた岩倉純子さんは、1年半前に職場を早期退職し菌床しいたけの栽培を始めました。退職する前からアスパラを作ったりと元々農業には関心があった岩倉さん。市役所ではずっと庶務の仕事をしていたのですが、ある時、農業振興に関わる部署へ異動になり、産直の担当になったことがきっかけです。まず農業に興味が出てきました。それから勉強も兼ねてJAの営農塾を受講し、農業の技術や基礎知識をつけていくうちに本格的に農業を始めよ



お話を伺った岩倉純子さん。

うと決意。ちょうど色々なタイムリングが重なった時期に農業一本の生活をスタートさせました。

### しいたけ栽培は 思ったよりも力仕事が必要

しいたけを選んだ理由は、目に見えて成長するのがわかるので楽しそうだったから。当時、周りの人から「しいたけは良いよ、きれいだし楽だね、やりんさいや」という話を聞いていましたが、いざ始めてみると思っていたより力仕事が多かったそう。ハウスは業者が建ててもらいましたが、菌床ブロックを置く棚は周りの人たちにアドバイスをもらって作ってもらった。



ハウスには現在2,400個の菌床ブロックが並んでいる。

をもらいながら自身で作りました。長いパイプを自分で決めた幅にカットし、一本一本組み立てていきます。それを運ぶのがとても重く、女性にとってはは大仕事です。その作業を幾度と繰り返し、何とか2,400個のブロックを置く立派な棚を完成させました。また、菌床は1年で栽培が終わるので、その都度新しいブロックへの入れ替えが必要となります。「聞いていた話と違うし、思ったよりも大変」と苦笑いする岩倉さん。どのようにしてしいたけを栽培しているのでしょうか。

### 温度・湿度の管理が最重要

毎年1月〜3月の間に、「旭町菌床椎茸製造施設部会」からすでに種菌を植えてあるブロックを購入し培養施設に運びます。そこで8月ごろまで菌を培養させます。最初は、真っ白なブロックですが、そのまま置いておくと褐変といって茶色くなっていきます。その際に一つずつ向きを変え、菌が全体に回るように動かします。その後、被せている袋をカットし酸素を流入させます。しいたけは気温が下がった時に衝撃を受けると



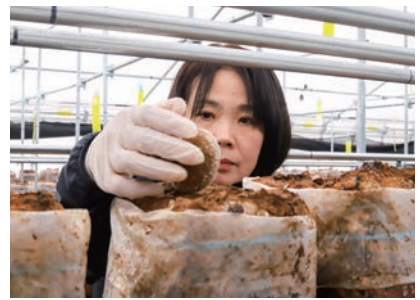


発生してしまうので、お盆前には培養させたブロックをすべて栽培用ハウスに移動させます。

それからは、発生準備が整う10月ごろまで約2ヶ月置いておきます。特に温度の管理は大変で、岩倉さんのハウスには冷房がないため暑い時期には菌床が傷まないように水をかけたり風を送ったりする作業をしながら、夏場以外は



このように裏側の膜が切れてしまうと見た目が悪くなるので、湿度の管理にも注意しなければならない。



一つ一つ丁寧にしいたけの様子をチェックしながら収穫する。

毎日ハウスに行き、付きつきりで管理をする岩倉さん。「良いもの」とは、形がまん丸で裏側の膜が切れていない状態。普段からしいたけの様子をしっかりと見ていないと絶対のタイミングを逃してしまいうので、時間の許す限りハウスにいます。秋から冬にかけて出荷のピーク時は、朝6時半から収穫、袋（パック）

ハウス内の温度を日中18℃、夜間12℃に保ちます。いよいよ発生期の時期になると水をかけるなどして刺激を与え、しいたけを発生させます。その際、ハウス内が乾燥するとしいたけの表面がバリバリになり、裏側の膜が切れやすく、見た目の悪いものに成長してしまうので湿度にも十分気を遣います。

こうして、温度、湿度に細心の注意を払いながら大事に育てていき、やっと収穫の時を迎えます。

**とにかく楽しい！  
毎日、しいたけ栽培に夢中**

最初は、生えたものを収穫すれば良いと思っていましたが、栽培をしていくにつれ「やっぱり良いものを出したい」という思いが強くなり、

こうして、温度、湿度に細心の注意を払いながら大事に育てていき、やっと収穫の時を迎えます。

**菌床しいたけ  
一口メモ**

浜田市旭町では昔からしいたけが振興作物として作られてきました。菌床しいたけの生産者は以前より減少しましたが、ここ2年間で4名も新規生産者が増え、かつての活気を取り戻しつつあります。菌床しいたけは原木しいたけに比べ、匂いやクセがないので誰でも食べやすいという特長があります。さらに、生で流通することが多いので肉厚でジューシーな味わいを楽しめます。肥料や農薬などは一切使用していない、安心安全なしいたけをぜひご賞味ください。



専用のスケールでサイズを選定。穴から落ちないところでサイズが決まる。

ク）詰めをして、9時半の集荷時刻に間に合うよう作業を進め、その後も夕方まで世話をします。おかげで、プライベートの時間や掃除をする時間もなく取れませんが、それでも、「しんどいとは思いません。楽しいです！」と笑顔を見せる岩倉さん。しいたけ栽培をやっている良かったことは、やはり採れたての新



「休みはありませんが、楽しいです」と語る岩倉さん。

鮮なしいたけをすぐに食べられること。自分で栽培を始めてから、改めてしいたけの美味しさを実感しています。おすすめの食べ方は「しいたけステーキ」。フライパンにオリーブオイルとんにくを入れ炒め、しいたけを焼き、塩を振って少し蒸したら、最後に醤油をひと回し。これが本当に絶品で、いくらでも食べ



地元の産直には、朝採れの新鮮なしいたけが並ぶ。

られるのだそう。

現在、栽培を始めて2年目。まだまだ手探りの状態で毎日試行錯誤を重ねていますが、家族の理解のもとで念願の農業を楽しんでいる様子。将来的には、ご主人に手伝ってもらいながらさらに収量を増やしていき、美味しいしいたけを皆さんに届けたいと考えています。





# 産直へようこそ!!

可成り産地が広い地域の特産品「JAきんさい」  
島根県内の産直店舗を「紹介」します。



誰でも確認できる生産履歴で「安全・安心」を実感

産直きんさい市場黒川店は、浜田地方の地産地消の拠点の一つとして、そのほぼ100%が地元生産者による季節の農産物を扱う人気店だ。同店舗が何よりも重視するのは、商品が「安全・安心」であること。そのために様々な取り組みで安全・安心を徹底する。その一例として、生産者の代表と行政からなる品質管理委員会を組織していることがあげられる。委員会では毎月、利用者からの意見やクレームに全て目を通し改善を図るとともに、それらの情報を全体で共有化するため、出荷会員へ会報誌で提供している。また独自で抜き打ちの農薬検査を実施するなど、そのこだわりは徹底している。同産直では昨年3月に農産物の栽培履歴を確認できるシステムを導入し、店内商品に貼ってあるバーコードを読み込ませると、その商品の農薬使用状況などが表示されるというもの。誰でも使用することができ、またそうした環境を作ること



年の瀬に向けて、人気の切花を豊富に用意



管内で作られたジャムが並び、ジャムコーナーは充実の品ぞろえ

全・安心を来店者へPRしている。菊などの切花が年間を通して売れ筋だが、梨、西条柿、ピオーネ、イチジクといった管内で育った果実類も人気。これからの季節は白菜やキャベツなど葉物類のほか、昨年は不作だったサトイモの出来がよくオススメだという。お盆と年末限定で弥栄肥育センターの和牛肉も販売される。同産直では、2年前からfacebookで情報を発信している。本日のおすすめ商品や季節ごとの初物入荷情報など、定期的な情報発信で、全世界へ浜田の旬をアピールする。



facebookで旬を発信！  
気になる方は要チェック！

店名：産直きんさい市場 黒川店  
所在地：島根県浜田市黒川町3741番地  
TEL：0855-22-8827  
営業時間：8:30～18:00（11月～3月は17:00）  
定休日：年末年始（12/31～1/5）、  
日曜日（1月～3月）





JA  
自己改革  
実践中

JAグループ島根

# JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介



JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

西森さんは邑南町で花卉栽培（施設）を中心に農業経営をしています。

平成26年に邑南町が主催している農業研修生（おーなんアグサポ隊）として、広島県から邑南町に移住し、3年間の研修を経て、平成29年に邑南町で就農しました。花卉を専門とし、春と秋は露地野菜の葉物を組み合わせて農業を営んでいます。

地域住民と交流を図りながら農地を確保し、平成29年にJAしまね農業振興支援事業施設等整備支援を活用しハウス2棟を整備。現在施設内ではトルコキキョウを栽培しており、島根の花品評会で受賞するなど活躍されています。露地では、サニーレタス、広島菜などの栽培に挑戦し、盆出荷のケイトウ栽培にも取り組んでいます。

今後はハウスの増棟や経営面積の拡大を図り、様々な花卉栽培にも挑戦しつつ、地域と一体となって営農に従事していきます。

にしもり  
邑南町 西森  
ひろたか  
浩隆さん



JA YOUTH

## 一所懸命 青年連盟

### JAしまねいわみ中央青年連盟

JAしまねいわみ中央青年連盟は、浜田市と江津市の若手農家で構成され17名の盟友がいます。管内は、兼業農家が多く高齢化が進み60歳以上の農家が6割以上を占めており、農業青年者と呼ばれる農家が少ないのが実態です。

そんな中でも、地元農産物のPRのため、昨年より盟友が栽培したイチゴやブルーベリー、西条柿などを使用したスムージーを管内のイベントで販売を始め、好評を得ています。

また、今年は、地域の公民館や管内の小学校へ「こんにやく作り」の出前授業に講師として出向いています。このように地域との連携の中で、次世代を担う子供たちへの食農教育活動や地域交流の輪が更に広がることを願いながら、今後も積極的に活動をすすめていきたいと思えます。





雲南

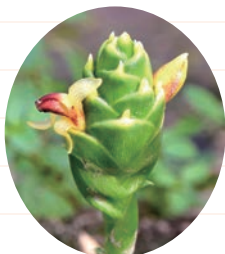
## 飯南で幻の花 ショウガが開花！

大阪から1ターンし、飯石郡飯南町でショウガを育てている辻野潤さんのハウスで、食用ショウガの花が咲きました。「幻の花」と呼ばれることもある希少な花で、島根県農業技術センターは「熱帯原産のショウガに日本で花が咲くのは非常に珍しい」と話します。

辻野さんは湿度や地温に気を配りながら管理し、やっと開花させることができ「この花をきっかけにして飯南について知ってもらいたい」「他産地に負けないショウガ産地を目指したい」と意気込みを語りました。



開花を喜ぶ辻野さん（左）と雲南地区本部の福岡達也職員



くにびき

## 中国・四国 J A 青年大会 上山根盟友が優秀賞！

くにびき青年連盟の上山根有史盟友（東出雲）が11月6日、香川県高松市で開かれた「令和元年度中国・四国 J A 青年大会」に、島根県代表として出場し、優秀賞に選ばれました。

上山根さんは、8月の島根県 J A 青年大会で、各組織の盟友による農業経営や青年連盟活動に対する希望や意見などを述べる「青年の主張」の部で最優秀賞に選ばれ、県代表として今大会に出場。各県から9名の代表も参加し、自身の農業への思いを語りました。

上山根さんは「農業のスター選手を目指して！」と題して、約3年間のサラリーマンを経て就農した経緯を説明。父親が立ち上げた「マルカミ農縁株式会社」の年商を1億円にすることや青年連盟活動を通じて、若い世代で地域農業を発展させることを目標に掲げ、みんながあこがれる農業のスター選手を目指すことと結びました。

審査員からは「地域農業や青年組織を引っ張るリーダーになるという決意が伝わる発表だった」と評価。上山根さんは「最優秀賞を取れなかったことは悔しいが、この経験を今後に活かしたい」と話しました。



隠岐

## グラウンドゴルフ大会で熱戦

隠岐地区本部は、11月16日（土）、隠岐の島町総合グラウンドで、地域の活性化を目的に第1回 J A しまね隠岐地区本部グラウンドゴルフ大会を開催しました。大会には地域の愛好家ら44人が出場し、第1回大会にふさわしい熱戦を繰り広げました。

選手は日頃から練習していることもあり、16名の選手がホールインワンを達成するなど随所に好プレーが見られ、競技は基本的に個人プレーでしたが、顔見知りの方が多いこともあって、和気あいあいと声を掛け合いながら、笑い声があちこちで聴こえ、地域間交流の場にもなりました。

表彰式では、優勝者となった隠岐の島町大久の吉山敏子さんに優勝カップが授与され、盛会のもと閉会となりました。

大会長の佐々木賢治本部長は、「引き続き地域の活性化に寄与していきたい。」と話し、隠岐の島町グラウンドゴルフ協会からは「引き続き大会を開催してほしい。」と要望がありました。



やすぎ

## 地域と児童がサツマイモ収穫！ 栽培交流を通じて食農教育

安来市伯太町の新田谷地区で10月28日、地元の安来市立赤屋小学校の1・2年生12人ととのサツマイモ収穫が行われました。同地区では国の多面的機能支払交付金を利用し使用されなくなった畑で、毎年同校の児童とサツマイモを栽培しています。今年は苗1,500株を植えつけており、この活動が子どもたちとの交流や食農教育にも繋がっています。

当日は、同地区の住民10人と J A しまねやすぎ地区本部の職員2人がサポートし、児童が5月に定植した150株のサツマイモを中心に収穫作業を行いました。はじめに児童はツル刈りから行い、その後土に埋まっている大きなサツマイモを次々と収穫し「たくさん大きなサツマイモがとれた」と児童は笑顔をみせ楽しんでいました。





## 斐川 そば脱穀、唐箕で選別

11月6日、斐川地区本部が管理する約5aの圃場で、今年の8月に播種を行い10月に収穫を行ったそば「出雲の舞」の脱穀・選別作業を行いました。くらしの活動事業の一環として同地区本部が企画し、そばの栽培に興味を持つ組合員7名が参加しました。

町内でそばを生産している糸賀充さんに手ほどきを受けながら、脱穀機で脱穀したそばの実を、昔ながらの唐箕（とうみ）を使って選別していきました。糸賀さんは「今年は土寄せをした時期も良く、しっかり成長してたくさんの実をつけている。どのくらいのそば粉になるか楽しみ」と話していました。参加者も「次はいよいよそば打ち体験。自分たちが育てたそばを打つのも楽しみだし、口に入れるのも楽しみです」と期待を込めていました。



## 石見銀山 温泉津町秋期子牛共進会

大田市の温泉津町和牛改良組合は10月29日、温泉津町の井田共進会場で、第40回温泉津町秋期子牛共進会を開催しました。12頭の子牛が出品され、育成改良の成果を競いました。

同組合の森徳行組合長は「11月18日の石東連合子牛共進会の予選を兼ねている。みんなで切磋琢磨し頑張っていきたい」と語りました。

J Aしまね石見銀山地区本部の山崎辰次常務理事本部長は「40年の長い取り組みに敬意を表す。J Aとしてもさらなる畜産振興を図っていきたい」と語りました。

審査の結果、吉田淳一さんの「ゆき」号が首席、森徳行さんの「はなこ」号が次席に輝きました。

吉田淳一さんの「ゆき」号については、発育が良好で、体上線の強さも非常に良いと評価されました。



首席「ゆき」号と吉田さん

## 隠岐 どうぜん J A感謝祭を開催

当地区本部で初の総合イベント「J A感謝祭」を11月10日（日）に開催しました。隠岐島前地域の4 J Aが最終合併して20年目、J Aしまねが誕生して5年目、また、平成から令和へ改元となった節目の年に、組合員・利用者・地域の皆様へ感謝の意を込めて企画しました。午前中は地区本部敷地内で、直売農家の野菜果実や県内野菜、島根和牛肉、J A農産加工場の餅・赤飯などを販売したほか、足立石材(株)の墓石相談会を行いました。屋内では、J A女子講座の活動写真の展示とニホンミツバチの蜜蝋を使用した「リップクリームメイド講座」を開講しました。紅白餅・ポップコーン・鍋汁サービスやくじり抽選会に、先日の県種畜共進会でグランドチャンピオンに輝いた海士町・戸鳴豊氏の飼養牛「ふく」号も雄姿を見せるなど、活気に満ちました。午後からは別府至誠館に場所を変え、雲南市を拠点に活動する「劇団おばば座」の公演と地元「民謡しげさ会」の隠岐民謡と踊りが披露されました。日本晴に恵まれ、500名余が参加する盛大な「祭り」となったことに厚くお礼申し上げます。



## 出雲 柿直売所まつり開催 日頃の感謝を込めて地元でP R

J Aしまね出雲平田柿部会は11月9日、10日の両日、出雲市平田町の野菜集荷所で「ひらたの柿直売所まつり」を開きました。毎年恒例の柿の種飛ばし大会、柿の積み上げ大会など参加型イベントを多数開催。試食コーナーも設置し、来場者はいろいろな種類の柿を食べ比べながら買物を楽しみました。

同部会は90戸、58ヘクタールで「西条」「富有」「伊豆」「太秋」などを栽培しています。選果場から直送される柿や、「あんぼ柿」「柿の葉茶」などの加工品を販売し、平成29年にはネット販売も始めました。営業は10～12月下旬までで、毎年この時期には隣接する倉庫を利用し直売所まつりを開いています。

まつりの司会を務めた同部会の常松修さんは「日頃のご愛顧への感謝を伝えるとともに、特産『ひらたの柿』をP Rする目的で開催しています。今年は天気にも恵まれ、出だしから大盛況でした」と話しました。



柿積み大会に挑戦する来場者



西いわみ

## 青パイアを健康づくりイベントで紹介

パイア栽培を手掛ける「農事組合法人とよた農産（代表理事組合長松本要）」は11月17日、益田市の健康づくりイベント「健康ますだ市21フェスティバル」の珍しい野菜や果物を紹介する企画に協力し、青パイアを提供しました。

会場ではパイアの木を1本丸ごと展示して紹介したほか、果実を使った料理の試食もあり、珍しさも手伝って来場者の注目を集めました。

パイアは、同法人が他県の栽培地に研修に向き、水田転作作物として取り入れ、現在は20本余りを露地で栽培しています。

青い果実を「青パイア」として市内のスーパーやAコープ店の産直コーナーで販売するほか、葉っぱもパイア茶として販売中です。



島根  
おおち

## 鴨山駕籠かき大会出場

島根おおち地区本部邑智支店は、11月10日に美郷町で開催された産業祭みさとふるさとまつりのメインイベントである第37回鴨山駕籠かき大会「仮装の部」に出場しました。

この大会は、4人もしくは5人1組で参加し、ゴールまでのスピードを競う「競技の部」と駕籠の装飾などアイデアを競う「仮装の部」があり、駕籠に40kg程度（女子チームの場合は20kg程度）の肥料袋を乗せ（「競技の部」のみ）、駕籠を担ぎおよそ2キロを走ります。邑智支店では、第1回大会から出場し、37年連続で出場しています。

今回の駕籠は『宇宙戦艦ヤマト』。邑智地区の職員が業務終了後に集まり、約1ヵ月かけて長さ約3m、高さ約1mの戦艦ヤマトを作り上げました。大会には、町内外から18チームが参加し、古代、デスラーなどに仮装した職員が駕籠を担ぎ、沿道のあたたかい声援を受けながら走りきり、仮装の部で第2位を受賞しました。



本店

## 令和元年度子牛共進会を開催

### ●西部地区子牛共進会

10月25日に西部家畜市場で令和元年度西部地区子牛共進会を開催し、西部地域（いわみ中央・西いわみ地区本部管内）から選ばれた肉用雌子牛18頭の出品がありました。

審査の結果、最優秀賞には益田市（株）田原牧場の出品牛「みふひこ号」が選ばれました。



最優秀賞に選ばれた  
（株）田原牧場の出品牛「みふひこ号」

### ●島根中央子牛共進会

11月15日に島根中央家畜市場で令和元年度島根中央子牛共進会を開催し、東部地域（くにびき・やすぎ・雲南・出雲・斐川地区本部管内）から選ばれた肉用雌子牛40頭の出品がありました。

審査の結果、各区の優秀賞首席は1区 安来市 倉井公子さん出品牛「ひみさくら号」、2区 雲南市 岡田明さん出品牛「たかやす号」が授賞し、グランドチャンピオンには倉井公子さんの「ひみさくら号」が選ばれました。



グランドチャンピオンに選ばれた  
倉井さんの出品牛「ひみさくら号」

いわみ  
中央

## 秋！今年も開催！ JAの浜田西支店“秋の収穫祭”

浜田西支店では支店ふれあい活動の一環として、支店運営委員会で協議し、今年で4回目となるJAの浜田西支店“秋の収穫祭”を11月16日に開催しました。地元農産物PRを目的として管内生産者の新鮮で安心・安全な農産物等を販売し、当日は晴天にも恵まれ来場者も多く、大量の農産物も午前中ではほぼ完売となりました。またJAの日頃の感謝を込め「豚汁」の無料提供や、「柿の種飛ばし記録会」を行い会場は賑わいました。LAコーナーでは「JA自動車共済保障診断」窓口を設けPRし、また地域貢献活動として来場者全員に「JA共済反射タスキ」他、JA粗品と信用・共済チラシを添え配布し「交通安全」について再度意識して頂きました。

最後に、開催にあたり支店運営委員による協力に大変感謝しています。また職員も一丸となって取り組み「チーム浜田西」がより団結したと感じました。





## タテのカギ

- ①「生麦生米生卵」とか「東京特許許可局」とか
- ⑥夫の配偶者です
- ⑦生まれたばかりの赤ん坊のこと
- ⑧ゆっくりつかって「極楽、極楽〜」
- ⑨剣や弓矢、大砲などのこと
- ⑪首の後ろ側の部分
- ⑬——をのんでなりゆきを見守った
- ⑭刑事を意味する俗語
- ⑮お酒は飲めない体質です
- ⑯こたつに似合う果物
- ⑰♠の記号で表すことも
- ⑲だて巻き、数の子、黒豆などを重箱に詰めて用意します

## ヨコのカギ

- ①元日の寺社が混雑する理由
- ②霊峰も銀峰もこれです
- ③バイオリンやビオラより大きな弦楽器
- ④魚偏に里と書く魚
- ⑤破(わ)れ鍋にお似合いです
- ⑧——ニタカニナスビ
- ⑩擦りむいた膝やあかぎれに塗ります
- ⑫浅草寺の表参道にある——商店街
- ⑬今より前の時点
- ⑮てこの——を利用して重い物を動かした
- ⑰グーとパーではパーの方が
- ⑲英語ではkingと言います

二重マスの文字を A ~ D の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	6		11	14		19
2			12		16	
		8			17	
3	7			15		
4			13			
5		9			18	
		10				

答え 

A	B	C	D
---	---	---	---

## 応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒685-0016 隠岐郡隠岐の島町城北町151  
JAしまね 隠岐地区本部 「クイズ」係  
2020年1月6日（月）（当日消印有効）

## ◆先月号の答え◆ 「クリスマス」

テ	ブ	ク	ロ	カ	ラ
ア	ロ	マ	セ	ス	ジ
ミ	ツ	ユ	キ	オ	
ク	ス	リ	ユ	ビ	
ハ	キ	ネ	シ	カ	
ガ	マ	ン	カ	ヨ	イ
キ	リ	モ	ス	ク	ワ

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはありません。

## けんこうさんぽ 健康散歩



## ノロウイルス対策

JA島根厚生連



毎年、冬になると流行しやすいノロウイルス。抵抗力の弱い高齢者や小さな子どもがかかると、重症化することがあるので、「かからない」ための対策が必要です。

### ノロウイルス感染症の経過

- ①感染——<感染が起こりやすい状況>
  - ・汚染された食品（生や十分加熱されていないかきなどの二枚貝）を食べた可能性がある。
  - ・周囲にノロウイルスに感染した人がいる。
  - ・ノロウイルス感染症が流行している。
- ②潜伏期間(24~48時間)——ノロウイルスが小腸で増加します。
- ③発症——<現れる症状>
  - ・吐き気や嘔吐（嘔吐から始まるケースが多いです。）  
⇒嘔吐は突発的で噴水のような嘔吐が特徴的です。
  - ・下痢（血便は出ません。血便の場合はほかの原因を疑います。）  
※発熱、筋肉痛、頭痛を伴うこともあります。
- ④回復——発症後1~2日で自然回復します。  
※高齢者や乳幼児など抵抗力の弱い人は、症状が長引き重症化することもあります。  
ノロウイルスに感染すると、嘔吐や下痢でつらい思いをするだけでなく、周囲の人、特に重症化しやすい高齢者や小さな子どもに感染を広げてしまうリスクがあります。

### ☆感染しない対策をしましょう!!!

- 「手洗い」がすべての基本  
よく泡立てたせっけんと流水で30秒ほどかけて、丁寧に洗いましょう。せっけんがウイルスが死滅するわけではありませんが、せっけんに含まれる界面活性剤の作用によって、手に付いた汚れやウイルスが流れ落ちやすくなります。特に調理や食事の前、トイレ、おむつ交換、嘔吐物の処理のあとなどは、洗い残しがないように時間をかけて洗いましょう。
- ノロウイルスによる食中毒を防ぐ  
ノロウイルスは熱に弱く、85~90℃で90秒間以上加熱すると死滅します。食品は中心部まで十分に加熱し、作り置きしたものは食べる前に再加熱してください。
- 外出先での注意  
ノロウイルス流行期の外出時に注意したいのは、公共のトイレを使う場合です。便器のふたや便座、レバー、手すり、ドアノブなどにウイルスが付着している可能性も考えて、使用後は丁寧に手を洗うことが大切です。


いつでも、どこでも、ぜひ感染症対策を、さっそく今日から始めましょう!!!



営農技術情報

## 堆肥の種類と特徴

稲わらやパーク（樹皮）、もみ殻、落ち葉など植物性の素材を使ったものと、家畜糞尿などを蓄積し、好氣的発酵させて腐熟させたものが堆肥です。堆肥は素材によって効果が異なるため、種類によって使用目的や使用方法が違ってきます。

牛糞堆肥	牛糞を堆積・発酵させ、乾燥させたもの。他の家畜堆肥と比べると、チッ素が少ない。肥効に持続性がある。	肥料としての役割が高い肥料です。 
鶏糞堆肥	鶏糞を堆積・発酵させ、乾燥させたもの。チッ素を多く含む。リン酸は水溶性のものが少なく、効果はあまり良くない。	
生ごみ堆肥	生ゴミを堆積・発酵させてつくられる。チッ素分が多く含まれ良質な肥料としても利用できる。	
パーク堆肥	針葉樹や広葉樹の樹皮（パーク）に鶏糞などのチッ素源を加え、堆積発酵させたもの。	肥料分が少なく、腐植になりやすく、通気性・排水性・保水性のよい、野菜づくりに適した土を作ります。
落ち葉堆肥（腐葉土）	広葉樹などの落ち葉を腐熟させたもので、肥料分はほとんど含まない。主に土壌改良材として利用される。	

※詳しくは、隠岐地区本部経済課までお問い合わせください。

## 営農情報

### 隠岐の島町特産品「島の香り 隠岐藻塩米」の販売促進

11月14日～16日にかけて、東京都において「島の香り 隠岐藻塩米」の首都圏向け販売促進を、島の香り隠岐藻塩米部会長村上淳一氏、会員の勝部聡氏、隠岐地区本部経済部の藤野部長の3名で実施しました。

14日は、島の香り隠岐藻塩米の主な卸し先である、はくばく(株)を訪問し、令和元年産米の状況や物流に関する産地の動き等について意見交換を行いました。意見交換では、元年産は新潟コシヒカリの1等米が少なく、2等米を中心に流通していることや、はくばく(株)が米事業から撤退するに当たり、東日本・東海・西日本の3つの地域で卸し業務の事業継承先を決定し、産地に対する影響が最小限となるよう取り組んでいること等を聞くことができました。

15日は、東京の「こだわりのお米屋さん(株)スズノブ」で開催した「ご縁三国結び米」（隠岐、銀山、島根おち地区本部のこだわり米の総称）の販売促進を、隠岐、邑智、銀山の3地区本部で行い、隠岐地区本部は隠岐から持参した特産品と「島の香り 隠岐藻塩

米」の販売促進をしました。店頭へは多くの方にご来店いただき、藻塩米の特徴や栽培方法などについてお客様へ分かり易く説明し、ファンを増やすことができましたと感じています。

16日も販売促進を実施し、東京で藻塩米を販売している米屋さんを訪問し、藻塩米の評価などについて意見交換を行いました。意見交換をする中で、ほとんどのお米屋さんが高産地のものと比べて藻塩米は品質が安定している、と高い評価をいただき、生産者の励みになったと考えています。

首都圏での販売促進活動は、藻塩米生産者とJAで実施していますが、栽培した藻塩米を生産者自らPRし販売することで消費者からの関心も高く、認知度の向上に大きく貢献していると考えています。

今後も、このような活動を継続し、「島の香り 隠岐藻塩米」の更なるブランド化に取り組んで参ります。

(報告／経済部)





令和元年産米集荷状況

令和元年11月30日現在

品 種 名	出荷予約数 (袋)	出 荷 数 (袋)	等 級			1等米比率	集 荷 率
			1 等	2 等	3 等		
うるち米	15,019	11,695	6,759	4,447	489	57.8%	77.9%
コシヒカリ	8,759	6,401	3,540	2,605	256	55.3%	73.1%
コシヒカリ (慣行栽培)		3,864	1,983	1,625	256	51.3%	
コシヒカリ (ハデ干し)		158	61	97	—	38.6%	
コシヒカリ (特別栽培米)		1,394	511	883	—	36.7%	
一般薄塩米 (コシヒカリ)		376	376	—	—	100.0%	
特選薄塩米 (コシヒカリ)		609	609	—	—	100.0%	
きぬむすめ	5,317	4,460	3,081	1,254	125	69.1%	83.9%
きぬむすめ (慣行栽培)		2,482	1,441	916	125	58.1%	
きぬむすめ (特別栽培米)		454	116	338	—	25.6%	
特選薄塩米 (きぬむすめ)		1,524	1,524	—	—	100.0%	
つ や 姫	943	834	138	588	108	16.5%	88.4%
酒 米	1,044	1,059	216	505	338	20.4%	101.4%
五百万石	774	708	0	505	203	0.0%	91.5%
神 の 舞	70	57	0	0	57	0.0%	81.4%
山 田 錦	200	294	216	0	78	73.5%	147.0%
も ち 米	33	28	25	0	3	89.3%	84.8%
ミコトモチ	10	3	0	0	3	0.0%	30.0%
ヤシロモチ	23	25	25	0	0	100.0%	108.7%
合 計	16,096	12,782	7,000	4,952	830	54.8%	79.4%

(報告／企画総務課)

令和元年産米集荷状況

隠岐産素牛肉牛枝肉研究会の開催

11月26日、第25回隠岐産素牛肉牛枝肉研究会を大田市の島根県食肉公社で開催しました。研究会には、隠岐で生まれ概ね6か月程度飼育された後、肥育牛生産者に飼育された黒毛和牛14頭の枝肉が出品されました。出品された枝肉は、枝肉重量・肉質などについて審査され、優秀な成績の生産者に対し表彰が行われました。また、当研究会の中で、子牛生産者、肥育牛生産者、関係者により、島根県の畜産を取り巻く状況や育種改良などについて検討会が行われ、今後の畜産振興について深めたところです。



出品された枝肉

(報告／企画総務課)

J A N E W S

J A ・警察防犯対策協議会を開催

12月9日、隠岐地区本部と隠岐の島警察署は、JAしまね隠岐支店において防犯協議会を開催し、隠岐の島警察署からは吉川浩則署長様をはじめ警察署職員4名にご出席いただき、当地区本部からは佐々木本部長をはじめ管理職の職員が出席しました。この協議会は、JAと警察が協力して、農協事業にかかるとる暴力犯罪や交通事故等に対し予防と排除に努め、地域の健全な発展に寄与することを目的に毎年開催しています。

協議会の中で、当JA地区本部より令和元年度の取り組みとして、地域犯罪の抑制および交通安全への啓発を目的に、全公用車ヘドドライブレコーダーを設置したことや西郷中学校においてスタントマンの実演等による自転車交通安全教室を実施したことなどを報告させていただきました。また、今後の活動として、令和2年3月にはJA年金受給者を対象として組織している「年金友の会」で開催予定のイベントにおいて、プロの落語家による「交通安全落語」やドライブイングリッシュミューラーなどを活用した高齢者向け交通安全教室を開催する予定としています。

JAでは、引き続き地域の防犯・交通安全に寄与できるよう、警察署と連携し取り組みを行って参ります。



防犯協議会



キラリ推進隊委嘱状授与

(報告／企画総務課)



トマト会を地域貢献活動団体として表彰

J Aしまねは、令和元年度地域貢献・地域活性化団体活動の表彰式を、11月15日、松江市で開催し、隠岐地区本部管内からは都万地区で活動をする「トマト会」を推薦し表彰いたしました。

地域貢献・地域活性化団体活動表彰は、地域力発揮による「元氣な地域づくり」を応援し、地域の活性化に寄与している団体の功績を称えることを目的として、7年前から毎年実施しており、各地区本部が推薦する団体に対し表彰を行っています。



表彰式にて受賞をされた皆様

今回受賞をされたトマト会は、小さな農家でも作れば売れる仕組みを構築するため、平成19年に設立され、現在では、会員が栽培・収穫した「安心安全」な野菜を、地元の給食センター、保育所、福祉施設などに供給し、地域を支えている。また、安心安全な野菜を安定的に供給するため、毎月、県の普及員や隠岐地区本部の営農指導員を交えた定例会をJ A都万支店において開催し、会員相互で意見交換をする中で地産地消に取り組んでいます。

(報告／企画総務課)



島根県普及員、J A営農担当者をお互いの意見交換会 風景

隠岐の島町いきいき祭りにぎわい

11月17日(日)、隠岐島文化会館において「令和元年度隠岐の島町いきいき祭り」が開催され、隠岐地区本部も参加いたしました。



今回は農を中心とした構成で企画がすすめられ、当地区本部としても新たな企画として、スマート農業(スマート農業とはロボット技術や情報通信技術ICTを活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現する等を推進している新たな農業のこと)についての相談会や隠岐の島町の特産品である藻塩米のPRとして「お米のすくいどり」など例年以上の催しを実施いたしました。また、隠岐で飼育された闘牛の牛肉と藻塩米を使用した牛丼を格安で提供し、お昼前には完売するほど盛況でありました。また、同会場において隠岐の島町畜産共進会を開催し、藤田香さん

(隠岐の島町南方) 飼育の繁殖若雌「かつよし」号がグラウンドチャンピオンとなりました。



(報告／企画総務課)

五箇どんと祭りに出店

11月23日、五箇生涯学習センターにおいて毎年恒例の「五箇どんと祭り」が開催されました。当地区本部からは五箇支店と農機課が参加しました。五箇支店は鶏のから揚げと購買品を販売し、農機課では農機具等の販売をおこないました。

今回のどんと祭りは天候にも恵まれ晴天となり、今まで以上にたくさんの方々が盛り上がりました。農協ブースでは朝早くから準備した甲斐もあり、たくさんのお客様にきていただきました。また、午後からは多目的ホールの中で、地元の小・中学生や有志による歌や踊りなどの発表会もおこなわれ、地域の方々との熱い交流の場となりました。



祭りを祝う餅なげ



J A出店ブース

(報告／五箇支店)



地域の農家を対象とした  
担い手人間ドックを実施

11月11日（月）、JAしまね隠岐地区本部は、地域農家の皆様が安心して営農に取り組むため、健康管理の面でお手伝いができるよう、管内の農業担い手を対象に巡回人間ドックを実施しました。担い手人間ドックは、身近な場所において、一般的な人間ドック料金よりも割安で受診でき、また健診内容も標準的な検診に加え、胸部CT、血管硬化チェック、筋肉量測定なども受診できることもあって34名が受診をされました。

翌日には、担い手以外の管内地域住民を対象とした人間ドックを実施し、17名の方が受診をされました。



（報告／企画総務課）

隠岐地区本部運営委員会情報

1. 令和元年11月11日（月）に開催の隠岐地区本部運営委員会にて協議された主な議題および報告事項は次の通りです。

【協議事項】

- (1) 典礼事業にかかる虹のホール施設の貸出終了について
- (2) 隠岐支店集金業務の見直しについて
- (3) 令和元年度業績還元資金の使途について

【報告事項】

- (1) 令和元年度産米集荷状況について
- (2) 令和元年度11月西郷家畜市場市況について
- (3) 上半期決算状況について
- (4) 将来収支を踏まえた店舗の在り方について
- (5) 隠岐地区本部における将来シミュレーションについて
- (6) 隠岐地区本部購買店舗の実態調査結果について
- (7) 理事会報告
- (8) 隠岐地区本部9月から11月にかけての取り組み経過報告
- (9) 隠岐地区本部9月末実績状況報告

【決定事項】

- (1) 虹のホール施設の他葬儀業者への貸し出しを令和2年8月31日をもって中止する。
- (2) 隠岐支店管内の集金業務について、令和2年3月1日より原則廃止する。今後、廃止に向けたJA内部協議を行い、現在の集金先等への説明およびご理解を得ていく。
- (3) 令和元年度業績還元の使用について、  
① 青年連盟活動助成、② 年金友の会助成、  
③ 地域貢献活動への助成を追加決定。



（報告／企画総務課）

お便りコーナー

読者の皆様のご意見・ご感想をご紹介します。先月号の記事で年金友の会で毎年実施している旅行が載っていました。楽しそうですね。写真に知り合いを見つけました。

JAしまねびよりを、いつも楽しみに、毎月読ませていただいています。畑仕事で毎日が楽しくなり、健康散歩記事を読み元氣になりました。  
（久見・Yさん）

久しぶりの投稿です。JAしまねびよりを毎号楽しみにしています。健康散歩記事、地区本部トピックス、しまねうれしび記事、野菜作りのコーナーは、とても楽しみです。  
（有木・Mさん）

先月号の夕食時間についてのお話しは大変参考になりました。妻と二人で頑張ってみたいと思っております。  
（加茂・Yさん）

JA女子大生のサツマイモ収穫を見て、我が家もサツマイモの収穫をしました。良い長期保存方法があればと試しています。  
（上西・Hさん）

先月号の健康散歩記事を読んで、夕食時間について、なるほどと思いました。  
（原田・Mさん）

毎月、JAの課長さん直々に配達していただき、ありがとうございます。名前は知りませんが、あの臭い虫がおります。夏だけかと思っていました。冬越しするのでしょうか？ 駆除方法はどうすれば良いのでしょうか？  
（中村・Iさん）

【JAからの回答】  
カメムシだともわれますが、床下などの目に付かない所に集まり、集団で越冬します。見つけた場合には、市販の殺虫剤での防除ができます。

たくさんのお便りお待ちしております



# とう立ちの遅い品種を選ぶ ダイコンのトンネル栽培

あなたもチャレンジ!  
家庭菜園

園芸研究家 ● 成松次郎

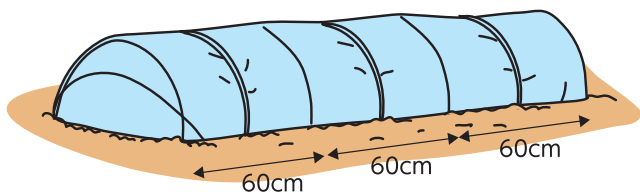
トンネル栽培は晴天日には気温が外気より高く、日中の気温を生育に適切な温度（15～25度）に少しでも長く保つことができます。さらに、20度程度の高温はダイコンのとう立ちを打ち消す働き（脱春化という）があります。このように、トンネルとマルチの利用は生育促進と、とう立ちを回避する効果があります。

一般地では、種まきは2～3月、収穫期は5～6月となります。

**【品種】**「天宝」（サカタのタネ）、「つや風」（タキイ種苗）はとう立ちが遅く、低温でもよく太る肌のきれいな品種です。「大師」（タキイ種苗）はやや短根ですが、密植ができます。

**【トンネルの作り方】**支柱の長さは、床幅70～80cmでは、挿し込む長さを加え、200cm程度の長さが必要です。トンネルフィルムは、支柱の長さと同じ程度の幅を使い、マルチフィルムは、農ポリの穴開きで雑草防止には黒を選びます。トンネルの土台となる支柱を60cm間隔に挿し、フィルムの裾は土で埋め、フィルムの上に押さえる支柱を挿し込むなど耐風性を工夫しましょう（図1）。

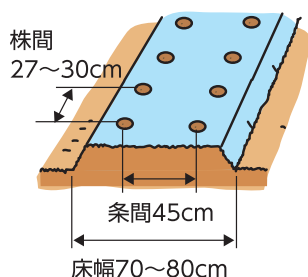
図1 トンネルの作り方



**【畑の準備】**種まきの2週間前に1平方m当たり苦土石灰100gをまいて畑を深く耕して、土を細かく碎きます。1週間前に化成肥料（N:P:K=10:10:10）150g程度と完熟堆肥1～2kgを施用します。

**【畝立てと種まき・間引き】**幅70～80cmの栽培床（ベッド）を作り、マルチフィルムを早めに張って地温を上げておきましょう（図2）。条間45cm2条、

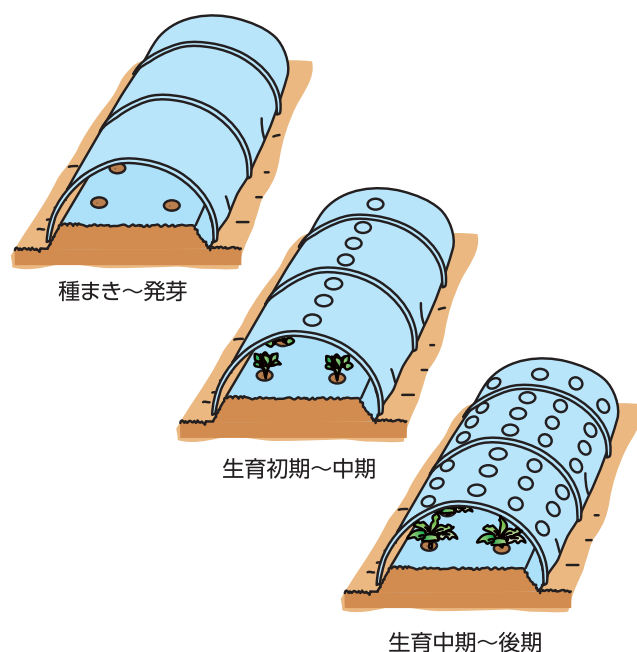
図2 畝立て



株間27～30cmとし、1カ所4～5粒をまいて、1cm程度の覆土をします。1回目の間引きは本葉1～2枚までに、2回目は本葉4～5枚の頃しっかりした株を1本に残します。

**【トンネルの換気方法】**日差しが強くなるとトンネル内は30度を超えるため、換気します。穴開きフィルムを使うと、換気の手間が省けます。穴なしフィルムでは裾を気温に応じて開閉するか、またはフィルムに穴を開け、次第に穴を増やして換気量を大きくします（図3）。3～4月はさらに気温が上がり、葉が茂ってトンネルの中が窮屈になる頃にはトンネルを剥ぎます。

図3 トンネルの換気(穴開け)方法



**【収穫】**首の太さが8cmくらい、重さ1kgぐら이가収穫適期です。若取りして、葉も利用しましょう。なお、とう立ちが進むと芯が堅くなりますが、花茎（とうの長さ）が10cm程度なら問題ありません。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。



ほうっておかないで、  
**その痛み**

シリーズ累計  
販売個数  
**189万個**  
うち  
ビタエース「ゴールド」錠  
97万個

効き目の確かな  
**「医薬品」**

**ひざが痛い**  
**腰・肩が痛い**  
**手足がしびれる**  
**疲れが取れない**



**5つの有効成分** 1日量(9錠)中

— ひざ・腰・肩などの軟骨成分 —

コンドロイチン硫酸エステルナトリウム

※最大配合量 **900mg**(※)

— 痛みを緩和する4つのビタミン —

**ビタミンB<sub>1</sub>誘導体**

(フルスルチアミン塩酸塩)

**109.16mg**(※)

**ビタミンB<sub>2</sub>**

(リボフラビン酸エステル)

**12mg**(※)

**ビタミンB<sub>12</sub>**

(シアノコバラミン)

**60μg**(※)

**ビタミンB<sub>6</sub>**

(ピリドキシン塩酸塩)

**30mg**

(※) ビタミンB<sub>1</sub>主薬製剤に  
配合できる1日最大量

第3類医薬品

グミアイ **ビタエース「ゴールド」錠** 270錠 **5,940円**(税抜価格5,400円)

【効能・効果】●次の諸症状の緩和:神経痛、筋肉痛、関節痛(腰痛、肩こり、五十肩など)、手足のしびれ、便秘、眼精疲労●脚気「ただし、これらの症状について、1ヵ月ほど使用しても改善がみられない場合は、医師又は薬剤師に相談してください。」●次の場合のビタミンB<sub>1</sub>の補給:肉疲労時、妊娠・授乳期、病中病後の体力低下時  
【用法・用量】次の量を1日3回、朝昼晩、食後に服用してください。15歳以上:3錠 11歳~14歳:2錠 7歳~10歳:1錠 7歳未満:服用しないでください。

お問い合わせ先



協同薬品工業株式会社 島根営業所

〒699-0641 島根県出雲市斐川町美南1655  
TEL 0853-73-7430

## ロータリー等を装着したまま公道走行が可能になりました!

ロータリー等の直装型作業機\*を装着した状態のトラクターが、一定の条件を満たした場合に公道走行が可能となりました。周囲の方々への安全を第一に、注意して走行してください。

\*直装型作業機:けん引タイプではない、ロータリー、ハロー、直装式ブームスプレーヤ、播種機等のトラクターに直接装着する作業機

**Q. 「一定の条件」とは  
どのようなものですか?**

**A. 灯火器類、作業機の幅、  
最高速度、運転免許**などの  
確認が必要となります。  
詳しくはお近くの農機販売店や、  
地方運輸局、地方農政局、  
(一社)日本農業機械工業会にご確認  
ください。

例えば灯火器類なら……

作業機を装着して灯火器類が見えなくなる場合  
⇒ お近くの農機販売店で、**灯火器類を増設**しましょう!



装着可能な灯火装置については、トラクターメーカー・作業機メーカー双方で供給開始に向けて準備中

国土交通省 農林水産省

(一社)日本農業機械工業会

【お問合せ先】  
農林水産省 生産局  
技術普及課 03-6744-2111



[http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s\\_kikaika/kodosoko.html](http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/kodosoko.html)

日農工 公道走行



<http://www.jfmma.or.jp/koudo.html>



### ボルシチ



ウクライナが発祥の郷土料理、ボルシチ。沢山の野菜を煮込んで作ります。鮮やかな赤紫色をしたスープです。味は、薄味のスープです。フランス料理のポトフのような味で、薄味だからこそ、それぞれの素材の旨みが生かされ、各素材の風味が楽しめるスープです。

#### ●材料（4人分）

ビーフブイオン	約1.5ℓ	人参	1/3本
キャベツ	1/8玉 (5mm幅くらいで千切り)	トマトソース	大さじ2 (トマト1/2個(1.5cm角切り))
じゃがいも	大1個 (皮をむき、2cm角大にカット)	ライ豆	50g
ビーツ	大1/2個(千切り)	ディル	(10本以上) あれば ひまわり油(またはオリーブオイル)
玉ねぎ	中1/2個 (1cmみじん切り)	塩・こしょう	適量
		サワークリーム	適量

#### ●作り方

- ①ビーフブイオンでじゃがいもを煮込み、キャベツ、人参、ライ豆を入れ5分煮る。
- ②フライパンにひまわり油を入れ、ビーツを炒める。玉ねぎを入れ炒め、トマトソース、①のブイオンを少し入れ5分程蓋をして蒸し炒める。
- ③ビーツが柔らかくなったなら①の中に入れ、塩・こしょうで味をととのえて煮込む。
- ④器に入れサワークリーム、ディルを乗せる。

### ホットプレートで2種類のチーズフォンデュ



クリスマス、お正月と人の集まる時期に、おうちでチーズフォンデュパーティーはいかがですか!好きな野菜、ハム、魚などチーズをつけているんな具材で楽しんでみてください。チーズは、エメンタルチーズ、グリュイエールチーズ、カマンベールチーズなど好きなチーズでつくってみてください。

#### ●材料（4人分）

ピザ用チーズ	200g
牛乳	100cc
片栗粉	小さじ2
ニンニク	1かけ

#### ◆抹茶バージョン◆

ピザ用チーズ	150g
他のチーズ	150g
牛乳	200cc
抹茶	適量
片栗粉	小さじ2
ニンニク	1かけ

#### ●つける具材例●

のやき	1本
人参	1/2本
ブロッコリー	1/2本
じゃがいも(さつまいも)	1個
かぼちゃ	1/4個
ミニトマト	8個
しいたけ	2枚
白焼きあなご	1本・ちくわ4本
食パン	2枚
ハム	1/2本
ウインナー	8本

#### ●作り方

##### 《下準備》

- ①食材は1口大に切り竹串をさす。
- ②ブロッコリー、人参、いも類は固めにさっとゆでる。
- ③食パンはオーブントースターで焼き1口大に切り竹串を刺す。

##### 《調理》

- ①チーズに片栗粉をしっかりと混ぜ合わせる。
- ②鍋又は器にんにくをこすりつけ、ホットプレートの上に置き、牛乳を入れ、牛乳の周りがプクプクとするまで弱火で温める。
- ③かき混ぜながら①のチーズを2~3回に分けて入れる。(焦げ付くので必ず弱火で、器底からかき混ぜる。)
- ④ホットプレートの上につける具材(のやき、ニンジンなど)を置き焼く。
- ⑤チーズが溶けて滑らかになり、プクプクとしてきたら竹串にさした食材にチーズをつける。

### 表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は三隅町室谷の「棚田まつり」です。「日本の棚田100選」に選ばれた棚田で開催されるこのお祭りは、稲刈りを終えた棚田で石見神楽や田ばやしなどの郷土芸能が行われるほか、地元で採れた農産物が販売され、県内外からの来場者で賑わいます。棚田の各所には時事ネタを盛り込んだかかしが並び、ガイドの解説を聞きながら棚田を歩く散策会が人気です。

### 編集後記

平成から令和へと時代が移った2019年。節目の年を、皆さんはどのように過ごされたでしょうか。農産物の出来に大満足の方もいれば、来年の改善点を発見された方もいらっしゃるかと思います。JALしまねびよりは、来年も皆さまの活躍を取材し、発信していきます。今年も、取材にご協力いただいた大勢の皆さまに『感謝』。(和)

### 【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

